



ちょっと谷戸沢

第1号
2014年4月

桜が咲くと、美しい空にはあの鳴き声

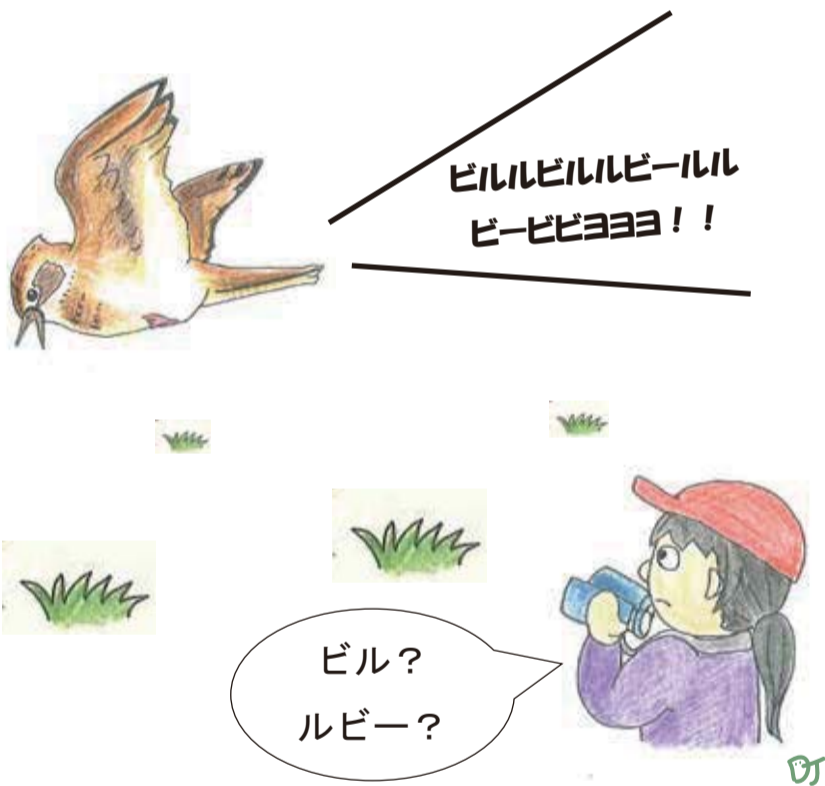
今年も谷戸沢処分場に、暖かな春がやってきました。草原ゾーンからとても賑やかな鳴き声が聞こえてきます。その正体はヒバリです。ヒバリは、さえずりながら上空の一点に静止して飛ぶ「ホバリング」という行動をします。



ちょっと、ヒバリの姿をよく見てください。

頭に短い冠羽があるのがわかりますか。飛んでいる時は見えないことが多いのですが、地面にいる時や、石や柵の上にいる時は、冠羽を大きく立てることがあります。

色んな角度からヒバリを観察してみると面白い発見があるかもしれません。



ヒバリの鳴き声はとても複雑です。

「ビルルビルルビービルルビービビヨヨ・・・」など。聞きなしでは「りと利取る、りと利取る、ひいちぶ日一分、ひいちぶ日一分」と貸したお金を返してくれない太陽に向かって叫んでいるとか。見えなくなるほど空高く飛ぶので、見上げ続けると首が痛くなります・・・ご注意ください。

ヒバリの巣はどこにある？

ヒバリは草丈の低い場所に巣をつくりませんが、ホバリングを終えたヒバリの着地した場所を見に行っても、そこに巣はありません。巣から離れた場所に着地し、違う場所から飛び立つことで



外敵に見つからないようにしています。

地元の方々の話によると、巣から飛ぶものもいるそうです。せつかく違う場所に降りたのに巣から飛ぶなんて、ヒナを育てるのに必死なのでしょうね。

ヒバリが飛んだ場所、着地した場所をじっくり観察すると巣が見つかるかもしれません。

